

広島大学歯学部同窓会卒後研修会

2023年度(第12期) ベーシックハンズオンコース

～ステップアップの鍵はここに 있습니다～

ベーシックコース開催のご挨拶

皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より広島大学歯学部同窓会卒後研修委員会の活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて私共卒研では、卒直後から開業前後までの先生を主な対象とした「ベーシックハンズオンコース」を開催しています。本コースは、1) 正確な資料採取について、2) 歯周病総論と歯周基本治療について、3) 歯周外科について、4) 修復・補綴治療について、全4日間にて講義および実習を行います。当コースでは、診療技術の向上を目指される先生方にとって在学中は習得しにくい技術や歯周治療を中心とした診療システムを、効率よく学んでいただけるカリキュラムとなっております。講師陣は卒研メンバーを中心とし、臨床医として同じ目線から若い先生方に臨床の楽しさを伝えて行きたいと情熱を持って準備しております。先生方の積極的な参加を楽しみにお待ちしております。

広島大学歯学部同窓会卒後研修委員会
委員長 中田 正樹

定員 12名 先着順、定員になり次第締め切りとさせていただきます。締め切り後に申込された方で希望があれば次回優先して受付させていただきます。

受講料 ¥90,000(税込) 4回通しての受講料です。材料代、昼食代を含む。実習器材(手術器具、ダイヤモンドバー等)は別途準備が必要。

会場 広島大学歯学部および大学病院内の施設

申し込み方法

受講申込書に必要事項を記入し **FAX(082)844-7800** に送付してください。FAX確認後、受講料の納入方法のご案内をいたします。受講料の納入後受付とし、受講票を送付させていただきます。また申し込み受付後、コースを受講する上であらかじめ準備していただく器材などの詳しい内容についてお知らせします。(広島大学歯学部同窓会費未納で資格停止会員の先生のお申し込みは出来ませんので、下記メールアドレスにご連絡いただき資格回復手続きを行なった上、お申し込みください。)

単回での申し込みは受け付けできません。

新興感染症の流行などにより、延期もしくは中止となる場合がございます。ご了承ください。

問合せ先：広島大学歯学部同窓会卒後研修委員会 申込受付事務局(レタープレス株式会社内)
Eメール：shigakubudousoukai@letterpress.co.jp

ベーシックハンズオンコース 受講申込書

医院名	TEL: - -
住所	e-mail:
参加者氏名	ふりがな
	ローマ字
	歯科医師 (出身大学/卒業年)

コンセプト

情報過多の歯科界において、本質的に変わることのない基本事項を習得し、さらに治療経過を再評価できるシステム作りを習得するためのコースです

対象

卒直後～数年の先生、開業前後の先生、
または更なる臨床のステップアップを目指す先生

第1回

4月9日(日) 講師 伊丹 宏之 26回生 広島市佐伯区 開業 中島 克 29回生 広島市南区 開業

正確な資料採取 口腔内写真撮影相互実習・口内法X線(デンタルX線)撮影相互実習

日常臨床において、患者の状態は刻一刻と変化し1人として同じ経過をたどりません。その変化を捉えるには規格性をもった口腔内写真、デンタルX線写真等の基礎資料が必要となります。これらの基礎資料を適切に採取し、蓄積していくことが臨床技術の向上、患者さんとの信頼関係の構築において重要と考えます。第一回研修会では、基礎資料の重要性を解説するとともに、口腔内写真撮影、デンタルX線撮影(12枚法 半側)の相互実習を行う予定です。

第2回

5月14日(日) 講師 藪 健一郎 30回生 広島市安佐南区 開業

歯周病総論と歯周基本治療 シャープニング・ルートプレーニングの実習

国民の8割以上の方が罹患していると言われている歯周病。その原因となる歯周病原菌が全身へ波及することで様々な炎症疾患を引き起こすことが報告されています。まず口腔内の炎症をコントロールする初期治療が歯周基本治療であり、日常臨床において避けては通れない治療と言えます。第二回研修会では、歯周病の原因論と具体的な歯周治療の流れ、SPTなどについて講義を行い、歯周基本治療の基本となるシャープニング、スケーリング・ルートプレーニングについて実習を行う予定です。

第3回

6月11日(日) 講師 中田 正樹 25回生 広島市中区 開業

歯周外科 ブタ下顎骨を用いた、切開・縫合・アクセスフラップ・モディファイドウィドマン等の実習

専門性の高い歯周外科治療はベテラン歯科医師にとっても苦手意識の強い分野です。現代の歯周治療は切除療法から再生療法まで複雑で、教科書を読むだけでは確実に治癒させる事のできる理論と手技の習得は困難かつ遠回りと思われれます。第三回研修会では講義にてエビデンスに基づく歯周外科の基礎理論を学び、実習では実際のブタ顎骨を用いて外科手技の基礎となる切開縫合法からフラップ手術の基本技術をマスターする事を目標としています。本研修会の受講により、歯周外科症例の第一歩を自信を持って踏み出していただければと思います。

第4回

7月9日(日) 講師 國原 崇洋 26回生 呉市 開業

修復・補綴治療 歯列模型を用いた、形成実習

歯科臨床において、口腔機能の回復を図るためには、修復・補綴治療は重要な役割を担っています。適切な修復・補綴治療を行うためには、基本に忠実な処置の積み重ねが大切です。特に、形成・印象採得・作業模型作成・CR充填等を適切に行うための知識と技術を習得することは不可欠です。第四回研修会では、形成・印象・作業模型作成及びCR充填等についての講義と歯列模型を用いた形成実習を行いますので、基本となる知識と技術を習得して頂ければと思います。

各回とも午前中講義、午後実習の予定です(予定9:30～16:30)

以前本コースを受講された方はオブザーバーとして講義の再聴講が可能です。(無料。聴講のみで実習は不可。単回での聴講可。)
また、出産育児などでブランクのある女性歯科医師の復帰支援企画として本コースの聴講、実習見学を受け付けております。
お申し込みは事務局にEメール(shigakubudousoukai@letterpress.co.jp)にてご連絡ください。